

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	南消防署管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	南消防署			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	片瀬 章博			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	南消防署職員	意図	消防署職員及び消防施設等の充実強化を図る。
事業内容	市民生活における安心・安全を守る拠点として庁舎の施設、設備及び車両の維持管理を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	流山市南部地区の防災、救急の拠点施設として施設の維持管理及び車両の管理を行っているが、つくばエクスプレスの開通に伴い、管轄地域内の人口増加、建物の高層化、住民の高齢化並びに交通量の増加により、各種災害の多様化や救急需要が増加しており、配置車両の増加、職員の増員に伴い、平成25年に新庁舎を建替えた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	車両の点検・修理	17	38	33	回	↓↓↓
②	庁舎の点検・修理	35	45	47	回	↓↓↓	
③	車両運用（消防車2台）	1,198	1,406	1,438	件	→→	
④	車両運用（救急車1台）	1,610	1,613	1,690	件	→→	
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
	地域の活動防災拠点として市民の安心・安全を守るため、庁舎・車両・装備を適正に維持管理及び補強していく必要があるが、経費の節約及び削減に努めなければならない。		

  

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	80,849,497	92,654,485	91,656,340
事業費(b)(円)	5,334,497	5,398,485	5,960,340
うち一般財源	5,334,497	5,398,485	5,960,340
職員給与費(c)(円)	75,515,000	87,256,000	85,696,000
人役・職員(人)	11.00	13.00	13.00
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	庁舎、施設の適正な維持管理と車両の法定点検整備などの維持管理及び経費削減に努める。	③取組における課題(Check)	複雑多様化する災害に対し、的確に対応するためには、車両及び資機材の維持管理が重要であり、安全確保、迅速かつ有効に活用できる消防活動が求められる。
②H30に実施した取組(Do)	庁舎、車両及び資機材の適切な維持管理。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	庁舎、車両の維持管理や資機材の点検整備に掛かる費用であることから、各職員が「器具愛護」を意識して経費削減に努める。